

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
1	06益田	08その他 (共通)	01県の組織	行政組織の 縦割りにつ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業では、テーマに応じてプロジェクトチームを組んで、テーマがなくなれば解散する。これは縦割りを消す横の繋がりが。こういう機動力が行政には少ないので、プロジェクトチームについても考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部の仕事については、様々な業務をいろいろな部署でやっている状況で、どんな切り口でやっていくのか難しい面がある。例えばがん対策も健康推進課と医療政策課で重なっており、どんな形でやったら良いのか、時々組織も変えて模索している。 ・今やろうとしていることを一番早く確実にやっていくことを考えると、ご指摘のとおりプロジェクトチームを作ることについてもやっていく必要があると思う。行政は、一旦決めた組織を壊しにくいというのは、ご指摘のとおりであると思う。フレキシブルに、一番良い手だてを考えていく必要がある。 	回答のとおり	健康福祉 総務課
2	01松江	08その他 (共通)	02公聴会	公聴会での 意見の反映 について	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べることの意義を疑問に感じている。昨年、一昨年にも後でまた話し合いましたと言われたが、実現せずに県の方は異動になってしまった。 ・意見が少しでも反映されたら知らせて貰うなど、意見を述べた努力が報われるような対応をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こうした意見交換の場は大切であると考えている。 ・公聴会の場でお聞きした意見については、意見・回答の概要に加えてその後の措置状況等を記入した資料を作成し、出席された団体あてに送付するとともに、県のホームページにも掲載しているので、ご理解頂きたい。 ・この公聴会とは別に、障がい者団体の方々と健康福祉部長との意見交換会を8月下旬に予定している。 	回答のとおり	障がい福 祉課
3	06益田	08その他 (共通)	02公聴会	公聴会の提 出データに ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料のデータに平成20年のものがあり、データとして古すぎる。最新の数字を出すのが手間がかかるので、今ある数字を使っておこうという印象である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のデータには公表できる数字を提出している。 ・集計中の数字や未確定の数字も持っているが、今回は公表できる数字を示しているの、ご理解いただきたい。 ・いろいろな議論に出来るだけ直近の数字、データを示すべきだということをご指摘のとおりであると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、直近のデータ等を資料として提示していきたい。 	健康福祉 総務課
4	06益田	08その他 (共通)	02公聴会	公聴会意見 のフォロー アップ、開 催のあり方 等について	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の公聴会意見がその後予算措置されたとか、こうなったとかのフォローアップはどうなっているか。 ・益田圏域は他の圏域と比べここが良いとかここを課題と考えているとかということを行政から提出して貰い、圏域の地域づくりに生かすことを考えていくべきではないか。 ・益田圏域の公聴会では、介護保険関係団体の参加がない。理由は如何。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と同様のお話があり、第一歩として圏域ごとのデータ比較を作ってみたところ。資料づくりを工夫していくことと併せ、圏域でお聞きした話をどう生かしていくのが一番良いのか考えて参りたい。 ・数字で見ると、益田圏域は平均的な数字である。 ・圏域での団体の方へのご案内出席については、それぞれの圏域で事情があり、公聴会が開始された当初の出席・欠席がそのまま続いていたということがあるかもしれない。 ・介護保険においては、事業者の皆様方と具体的な議論をする場を公聴会とは別に持っている。今後、会議の運営や資料については併せて検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公聴会でお聞きした意見については、意見、回答の概要に加えてその後の措置状況等を記入した資料を作成し、出席された方あてに送付している。 ・出席される方へのご案内については、毎年度見直しをしている。介護保険関係団体の方への出席についても働きかけたい。 	健康福祉 総務課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
						<ul style="list-style-type: none"> ・益田圏域は他圏域に比べ、健康づくりの組織が非常に良く整い、地域の力を引き出すのが上手だと思う。 ・例を挙げると平成13、14年頃は、益田は県下の自殺死亡率がトップであった。そのころ地域から自殺のことをもっと勉強しなければという声上がり、組織やいろいろな場で勉強された。その結果、他圏域が横ばいなのに益田圏域は自殺死亡率が年々下がっている。 ・こうした地域の力を利用して、地域保健の分野でいうと、先ほどからご提案のあったがん検診の受診率を上げていくことを一つファクターとして取り組めば、どんどんやっつけていける要素はあると思う。いろいろなデータ特に自殺死亡率を見ると、益田圏域は地域の繋がりが非常に強いし、それを前向きに活かせる圏域であるので、良い方向に進むよう力を貸していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民代表の方や各関係機関の構成団体からなる益田圏域健康長寿しまね推進会議等において、地域の実態や課題を整理しながら、健康づくりに取り組んでいる。 今後、皆様方ともに地域の状況に応じた健康なまちづくりをめざして取り組んでいきたい。 	健康推進課
5	01松江	08その他（共通）	03その他	健康福祉部の運営方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の運営方針について、もう少し具体的に数値目標とか示されなければ、どう評価して良いか分からない。 ・保健所の問題など、重要なと思うが今後保健所業務をどのように考えられているか全く見えてこない。あり方の検討等は慎重にお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部の運営方針は非常に概略的に書いているので、ご理解しづらい点、分かりにくい点があると思う。特に保健所の事についてご指摘頂いたが、保健所は昨年の新型インフルエンザなど健康危機管理の問題などクローズアップされている。 ・国においては、地域保健方針の検討が始まったところ。先ほど紹介した健康危機管理等について今後のあり方の検討を始めている。こういった動向を見ながら、県としても今後の動向を見極めていきたい。 	回答のとおり	健康福祉総務課